

# 新しいタイプの覆エコンクリート養生システム EPSパネル養生工法

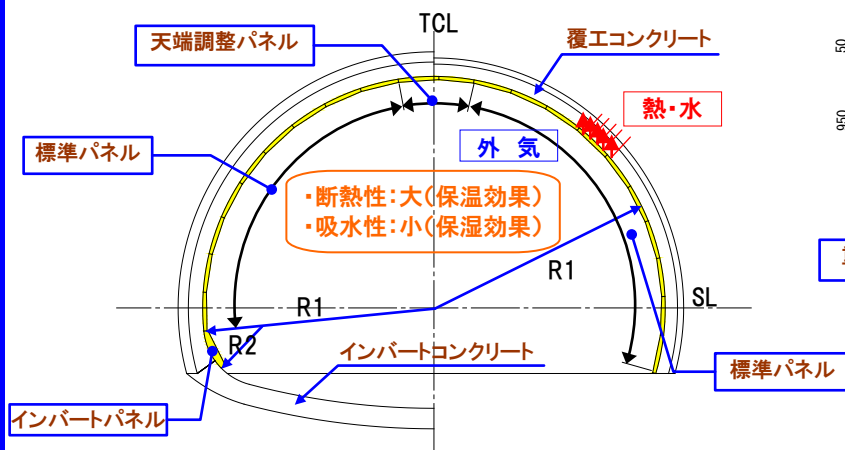


## 【工法概要】

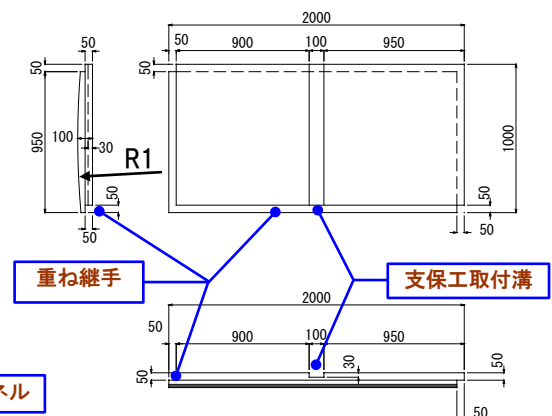
本技術はトンネル断面形状に合わせて成型加工したEPSパネルを型枠脱型後の覆エコンクリート表面に密着させて、その保温・保湿効果によりコンクリート初期強度の向上を図り、ひび割れを低減するものです。

標準のEPSパネルは大きさ1m×2m、厚さ5～10cmで軽量であり、塩ビパイプの支保材を用い人力で簡便にトンネル断面に沿ってセットでき、また重ね継ぎ手構造により保温、保湿効果が得られます。

【EPSパネル割付図】

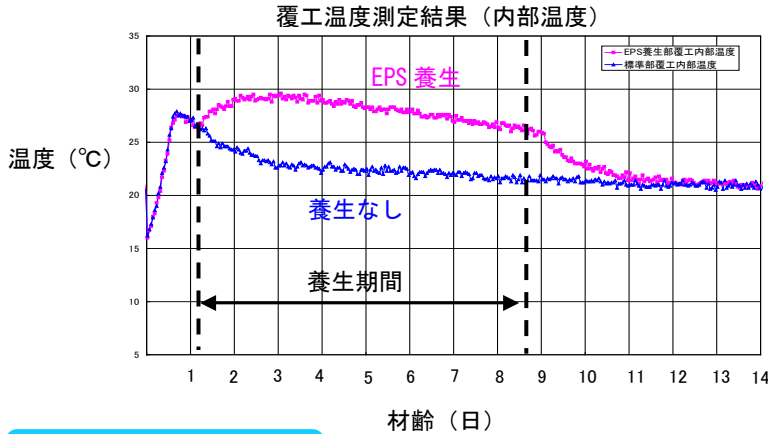


【標準EPSパネル構造図】



## 【特徴】

- 温度測定結果より、保温養生効果を確認
- シュミットハンマーテスト(材齢28日)の結果より、強度の増進を確認⇒保温・保湿養生の効果
- 弾性波レーダーによる鋼球接触時間測定結果より、表層の硬さ(弾性係数)の増大を確認⇒表面の乾燥収縮ひび割れに対する抵抗性の増大



シュミットハンマーテスト(28日)

	養生無し	EPS養生
反発度 (平均)	33.8	36.3
推定強度 N/mm <sup>2</sup>	24.9	28.1
強度比	1.0	1.13

弾性波レーダー (28日)

	養生無し	EPS養生
鋼球接触時間 (平均)	215	180
接触時間比	1.0	0.84

接触時間小 → 弾性係数大

## 【施工手順】

①～④の手順を繰り返して1スパン分の養生が完了



①脱型後、セントルを2m程度移動して支保材を周方向に仮設置



②脚部よりEPSパネルを建て込み、支保材をパネル中央の溝に設置



③天端用EPSパネルを建て込む



④支保調整材(棒ジャッキ)を伸ばしてEPSパネルを覆工面に密着



EPSパネル撤去後のコンクリート表面(湿潤状態)



株式会社 不動テトラ

〒103-0016  
 東京都中央区日本橋小網町7番2号  
 土木事業本部 技術部  
 TEL 03-5644-5027  
 FAX 03-5644-8528  
 特許登録番号第 3977848 号  
 NETIS登録 CB-090003-VE